

思わぬコロナ禍に世界中が恐れおののく事態となりました。今年は、オリンピックイヤーとして期待に満ちた年となるべきでしたが、新型コロナウイルスの猛威は数か月で世界中を席卷し、地球全体へ広がり、予測できない深刻な事態となりました。そのような中で、感染の脅威に晒されつつ、医療現場や先端医学の現場で奮闘されている医療関係者の方々へ、心からの敬意を表します。

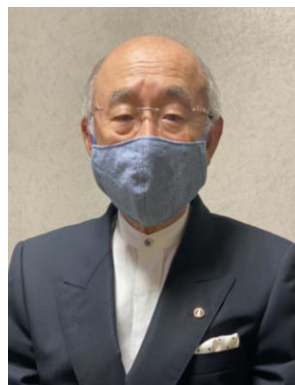
世界の感染者は実に1,000万人、死者は50万人を数えました。強力な感染力から身を守るために「密閉・密集・密接」を回避することが強く求められています。民主主義の根幹である人と人との対話、意思疎通が難しくならないかと心配です。

東京大学名誉教授で解剖学者の養老孟司先生は、「ウイルスを退治することではなく、ウイルスとの共存こそが大切である。」と説かれています。正に名言でしょう。私たち、日本人が身に着けている衛生観念や倫理観を信じ、これをベースに「三密」を避けて日常生活の中から新しいスタンダードを創造することができるものと信じます。また、スポーツイベントや音楽芸術関連の文化的イベントは当面は本来の開催が不可能な状況ですが、人間の感性や精神的な癒しを大切に、新しい生活様式も模索しなければなりません。そして、コロナにより提起された感染症対策への建築からの提案は新しい課題となってきます。

そのような中で、神奈川県建築士会は2022年2月に創立70周年を迎えます。記念誌の発行等も予定していますが、建築士会の趨勢を大きく前進させるための組織改革や委員会再編を図りつつ、魅力ある建築士会像を明らかにしたいと考えております。

建築士会は、会員数の継続的な減少など、厳しい

環境におかれてはおりませんが、建築士の地位を守り、建築を取り巻く多くの職能を一元的にまとめ、継続教育、社会貢献を通じて、社会からの評価を受けられるための活動を



展開しています。そのような建築士会の会員であることに誇りを持つとともに、建築士会の存在が大切であることを再認識しましょう。

首都東京の今は、延期が決まった東京五輪を控え、新しい都市景観が魅力的です。日本橋、渋谷などの再開発や各地の建設ラッシュは目を見張るものがあります。一方で丹下健三設計の代々木の競技場がリノベーションにより見事にリニューアルされました。日本を代表するモダニズム建築、まさに記念的建築物としての存在価値を内外に示した好例です。丹下健三、村野藤吾、坂倉準三など優れたモダニズムの建築家による建物の素晴らしさを改めて学び、そこに流れる時代への主張や建築への情熱を感じ取りたいと思います。

昨今では、デザインビルド的な手法や設計者、施工者の責任が見えにくい手法での計画が目につきます。かつてあこがれの職業であったように、建築家、設計者の存在にもっと光をあて、若い人々が建築に魅力を感じ、社会からの評価も受けられるよう期待したいと考えます。そのためにも、建築の専門家として自己研鑽を怠らず、社会から信頼されリスペクトされる建築士として誇りを持つ職能人としての専門家集団である建築士会の存在が大切です。皆様と共に暮らしやすい街、安全な街、美しい街づくりを目指してまいりましょう。

令和2年度総会特集

今年度の総会は、本会・各支部総会とも新型コロナウイルス緊急事態宣言下で様々な方法で開催されました。一日でも早く普段どおりに士会活動が再開できますよう、心から祈念し総会特集をお送りします。

令和2年度

(一社)神奈川県建築士会通常総会

(一社)神奈川県建築士会の通常総会は、令和2年5月28日(木)に神奈川県建設会館2階講堂において、正副会長、監事、理事の計16名の参加により開催されました。議長に渡邊副会長を選任したのち、総会の成立を確認するため、総会開催時点での会員数2,296名のうち委任状提出と併せた出席者数は合計1,193名であり、3分の1の定足数の766名を上回っていることを事務局が確認。これにより総会の成立を宣言し、恒例の金子修司会長の挨拶に続き、総会の議事に入りました。

本年度の総会は新型コロナウイルス感染対策のため人数を絞っての開催となったため、議案に対し会員の皆さんから事前にご質問とご意見をいただいています。ご質問とご意見は全部で5件、この誌面でその内容と回答をご紹介します。

第1は議案の送付なしでの委任状提出はおかしいのではないか、第2は委任状ではなく書面決議とするべきではないか、第3は委任状の用紙に個人情報保護シールを貼るべきではないかとのご意見。第4は、退会された会員の方々の退会理由のアンケート結果の内容についてのご質問。第5は委員会再編の内容についてのご質問でした。

このうち第1から第3のご意見については、本会としても新型コロナウイルス緊急事態宣言下での総会開催は初めての経験であり、開催方法等に様々なご意見があるとは思いますが、今後再びこのような開催方法を取らざるをえない事態になった際の貴重なご意見として承りたい、としました。

また、第4のご質問には、退会者の退会理由を19名から伺った結果をご紹介します。それによると、退会理由は「会費に合わない」が4名、「転居のため」「勤め先からの会費補助・支給がなくなったため」「業をやめるため」が各3名、「経済的理由から」「多忙のため」「体調不良のため」が各2名との結果になりました。最後の第5のご質問については、委員会再編は本会の令和2年度の重点事業とされていること、また新委員会体制は令和3年度から本格スタートできるよう、十分な検討と円滑な移行を図ることが回答されました。

通常総会の議案はすべて原案通り承認され、新型コロナウイルス対策に考慮した総会は1時間ほどで終了となりました。

横須賀支部

書面による異例の総会

支部長 平井 毅

横須賀支部令和2年度通常総会は、新型コロナウイルス感染症のため文書による異例の総会となりました。

書面議決を実施するにあたっては事前に相談役、幹事役員に電話・SNS等を利用した会議での承認を得たうえで役員幹事により取り纏めを行い、総会を実施することができました。役員幹事の皆さんの活躍には大変感謝申し上げます。

支部会員各位には5月中旬を目途に、議案書を郵送して「書面による決議」をお願いした結果、議案等である昨年度事業報告、一般会計歳入歳出決算書(案)および令和2年度予算、事業計画について、会員141名の過半数以上の賛成をもって可決されました。支部会員の皆さま、ご協力ありがとうございました。

なお、新型コロナウイルスの世界的大流行、国による緊急事態宣言による不要不急の外出制限等、いまだに危機感がつのる中で支部会員の皆さまの事業、業務も大変な影響を被っていると思います。

しかしながら、十分な感染予防を講じ、本会との情報共有はもちろんのこと支援も受け、横須賀支部では今年度も会員の皆さまと協働して事業計画にもとづく建築士としての活動を続けていきたいと考えております。

本来であれば、WEB会議等をはじめとした今後の活動体制を整えて、本年度の事業計画が予定通り執行できるか、会員で話し合うべきところですが当面の間は、とりいそぎ相談役、役員幹事の皆さんとの協議のもとで事業運営に当たりたいと思いますので、どうぞ皆さんご協力をよろしくお願い申し上げます。



上地市長表敬訪問(支部役員幹事):昨年度実施

中支部

「オンライン会議」導入と今後の業務の姿

支部長 矢野 高

中支部では去る4月7日に新型コロナウイルス対策により発せられた首都圏4都県等への「緊急事態宣言」発令に伴う外出自粛、3密の防止、そして普段から支部の催しの場として利用している施設の利用中止等の観点から、それ以降の役員会・会計監査及び令和2年度通常総会を昨今話題のオンラインミーティングアプリ「Zoom」を利用したのオンラインによる開催としました。

通常総会は役員と監事のみによるオンライン会議とする事から、総会資料を事前に中支部ホームページに掲載した上で、支部会員の皆様からは委任状により総会成立といたしました。委任状を返送いただいた支部会員の皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。またオンライン会議導入にご協力・ご意見いただきました支部役員の皆様にも感謝申し上げます。

今回の新型コロナウイルスが拡大し始めた頃からオンライン会議の導入については一部の役員同士での意見交換があり、また急速に様々なオンライン会議が可能なアプリの利用が世間的にも浸透していった事、更には光回線等の高速インターネット網の整備が進んでいる事から、支部三役での数回のテストを経て各会合への実施に繋がりました。まだ十分に使いこなせない点もありますが、滞りなく終了できたことは一応の成果と言える体験となりました。

「オンライン会議」がまるで最新のキーワードのように注目されていますが、考えてみればスマホが普及し始めた頃から既にテレビ電話は普通に使える環境下にあり、もっと早くからこのようなオンライン会議を導入する事も可能だったはずです。それが新型コロナウイルスでの緊急事態による危機によって一気に広がり私たちの生活や業務の在り方に大きな変化をもたらすとは何とも皮肉なものでしょうか。

オンライン会議に限らず、高速インターネット網の整備により私達の業務で考えれば民間確認検査機関での様々な電子申請や図面等のメールでの送信、名刺等の印刷物の発注等、日常生活では映画やテレビ等の動画コンテンツのネット配信等、それまではわざわざ出掛けてお金を払っていた事も自宅やオフィスにいながらやり取りをし、決済までもクレジットカードや電子マネーで行える世の中になり、時間の有効利用や経費削減に貢献することとなっています。もちろんこのようなメリットばかりでは無く、デメリットも多くありますが、間違いなく日本の社会、働き方、価値観に大きな変革をもたらす事は必至でしょう。

小田原地方支部

議案書の閲覧と委任状で総会開催

支部長 櫻井 泰行

令和2年度通常総会は5月13日に開催の予定でした。しかしながら4月7日に神奈川県は非常事態宣言対象都道府県となり先行きが見えない中、議案書を神奈川県建築士会のサーバーにアップロードし、支部会員には閲覧用のURLを伝え、委任状の提出と議案書に対する質疑を受け付ける方式で開催させていただいた。結果として書類上の総会開催日を6月13日に変更し、支部会員には6月10日までに委任状の提出をお願いした。支部会員数は104名、賛助会員数は30名、合計134名に対し受理した委任状は67通であった。支部規定により総会成立要件は会員数の5分の1以上となっている。今回は2分の1の委任状を受領したため、総会は成立した。

以下に成立した議案を記す。

- (1) 令和元年度 会務報告
- (2) 令和元年度 事業報告
- (3) 令和元年度 会計報告・決算・監査報告
- (4) 令和2年度 事業計画 (案)
- (5) 令和2年度 予算 (案)
- (6) 令和2年度 役員名簿 (案)

毎年総会に合わせて開催している講演会はNPO法人みんなでお城を作る会、小田原城天守調査研究室研究員の宮本氏に小田原城天守模型の調査内容に関する講演を予定していた。4月17日に文化庁が歴史的建造物復元に関し、これまでの復元という基準に加え、復元的整備という基準を追加した。これは史跡の整備推進を後しする基準であるため、小田原城天守木造復元に向けて興味深い話が聞けると期待していただけに残念である。この講演会は時期を改め開催したいと思う。

今年度の事業計画の中に健康と建築の関係性に関する勉強会を加えた。新型コロナ感染が広がる以前から温めていた企画である。小田原医師会や地元の理学療法士と共同で様々な視点から健康と建築の関係性を考える企画である。開催規模や時期を考慮しながら進めていきたい事業である。



小田原城

川崎支部

コロナ時代にやれることはやってみる！

支部長 金子 成司

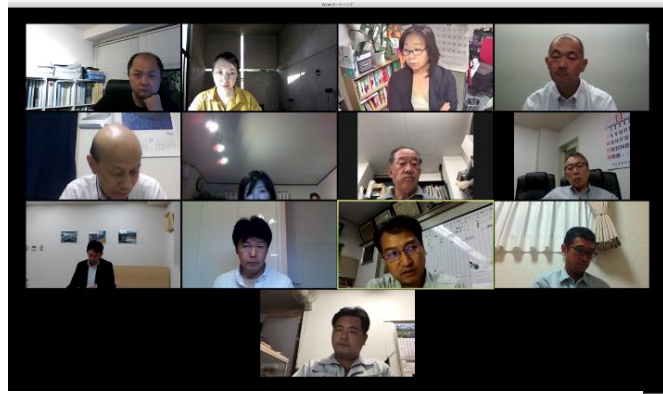
川崎支部の通常総会は、5月19日（火）に川崎フロンティアビル会議室にて開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大の緊急事態宣言下の中、一部の役員のみで行う方法を選択し、一般会員には委任状を提出していただく方法を選択しました。当然、三密を避けるための対策は勿論のこと、総会の動画も収録していつか会員の皆さんにも見ていただこうと思っています。



川崎支部総会の様子

議案的には、例年通りの事業計画及び予算計画となっておりますが、コロナ時代の到来に年度内の予定は幾つ実施できるか今から心配もしています。

リモート出社の会員もおられる昨今、川崎支部ではZ o o mアプリを使用したリモート会議も積極的に取り入れています。健康に不安のある方や士会活動に家族の理解を得られない方、また公共の交通機関を使用せずに会議に参加できることはメリットがかなりあるように思えます。



Z o o mによるリモート会議

何もできないと言うことでなく、「できることはやってみる！」川崎支部の強みは『人と人の繋がり』から生まれる化学反応だと思っています。さて、今回はどんな反応あるか今後が楽しみです！

相模原支部

支部総会と近況

副支部長 山口 義弘

令和2年2月中旬頃から、新型コロナウイルスの影響が相模原支部にも出てきました。2月下旬には相模原市在住の二級建築士合格者に対して祝賀会を予定していましたが、中止となりました。また、3月には相模原支部の協力による建築士定期講習（橋本会場）も中止となりました。

令和2年5月26日午後5時より、相模原支部の定期総会が行われました。三つの密を避けるよう、少数精鋭で短時間で十分な換気を行った上での開催でした。石井明支部長、安藤めぐみ副支部長、山口義弘副支部長兼事務局の3名が出席、委任53名で、相模原支部の事務局（てるて構造設計株式会社）にて行われました。総会は、滞りなく30分程度で終了しました。



相模原支部総会の様子

総会の事前に委任状を頂く際に、「お変わりありませんか。よろしければ近況をお知らせください。」とお願いをしました。すると多数の相模原支部会員よりコメントを頂くことができました。ありがとうございました。ここでひとつご紹介したいと思います。昭和52～53年度に相模原支部長に就任され、長期に渡りご活躍されています大先輩の佐藤清一様（御年98才）からのステキなコメントです。

「令和年度は何かと社会が世界中がコロナウイルスの渦に政治経済も混沌の中で老人もなんとか生きてます。来年は99才。人生百年と巷で言うが一世紀生きる事は大へんな事です。小生も今の処、三食おいしく食べてます。目下NHKの短歌友の会を過日無事卒業してささやかな本を出版しました。皆様の御自愛と士会の発展を願ってます。草々。」

今後とも、建築士会相模原支部を大いに盛り上げていきたいと思う所存であります。

県央支部

本年の総会を通じて

支部長 西方 正之

新型コロナウイルスが私たち県央支部総会の形を大きく変えてしまいました。緊急事態宣言が発出され、感染予防の点から外出、外食、会議、イベントなど多くの動きが自粛を余儀なくされました。

日本では、第一波は通りすぎたものの、海外ではまだまだコロナウイルスが猛威をふるい、今なお、多くの命が失われている国々があります。

在宅勤務、オンライン会議など生活様式が大きく変わるきっかけになっています。

県央支部の総会は、事業報告と決算報告、そして事業計画と予算計画を出席された会員に説明し、承認を得ることを主眼点としています。会員全員に総会のお知らせをするものの、委任状も多いので総会は成立しますが、例年出席される会員はさほど多くはありません。

日頃役員主体で活動しているので、総会が、その活動結果を会員に知ってもらう絶好のチャンスであるため、総会資料の内容はあれもこれも網羅しようと盛りだくさんになり、総会資料のページ数も増え、会員全員に行き渡らせるには物量的に大きくなり、総会資料は出席した会員だけに配布しておりました。

また、例年は、総会と同時に講演会などや、懇親会も抱合せて企画しておりました。

本年の総会を計画する頃(2月中旬)から、外出・会合自粛のムードが巷に蔓延しておりましたが、総会会場を当たり、日程は5月15日か16日で会場を仮予約しておりました。今思えば、新型コロナウイルスに対しての認識は相当甘かったと言わざるを得ません。

4月15日頃までに新型コロナウイルスが収束していたら開催とする、そうでない場合には開催しないことにしていました。

そして感染防止対策のために外出・会合自粛への厳しさが本格化し、状況の見通しが利かない中、方針についての役員間の打合せにしても会合によることもできず、メールなどの連絡によりましたが、もどかしさや歯がゆいものでした。

本年については、新型コロナウイルスによる外出・会合自粛が完全に払拭されない中、あえて危険を冒してまで1つ会場で一同に会しての総会の開催を断念し、郵送による方式の採用を決断しました。

総会資料は、事業報告と決算報告、そして事業計画と予算計画とあいさつ文のみと簡素化し、あらかじめ、会員全員に郵送し、返信ハガキにて了承の決

を採りました。

期日まで返信がなかった場合の「了承」と、「異議なし」の返信があった会員の合計数は全体の99%以上を占めることとなりました。

郵送物の作成など事務量も例年よりかさむことになりましたし、いろいろなことがありました。苦渋の決断であったものの、例年と異なる方式で「総会」を行ったことは、県央支部全体が新たな試練を体験したのではないのでしょうか。

湘南支部

支部ホームページを活用し少人数で開催

支部長 梅澤 典雄

新型コロナの感染予防拡大防止の緊急事態宣言を受け湘南支部は本会の総会方針や自粛の要請に従い書面による表決と委任状による参加自粛を会員にお願いすることにしました。

湘南支部のホームページ上に総会資料を掲示し、表決書と委任状書式を送付しました。

総会は令和2年5月23日(土)15時15分から16時まで、藤沢の蔵まえギャラリーにて、参加者は支部長、副支部長、会計、監事、計7名で開催しました。

参加者は入室に際しアルコールによる手の消毒、マスク着用で会に臨みました。

休会会員を除く249名の会員のうち112名から委任状を頂き全ての議題を満場一致で議決できました。終了後は懇親会も自粛し、即解散しました。

こうした緊急時の対応も全く考えていなかった反省もありました。

本来は会の趣旨から多くの会員が直接意見を述べ採決する場が重要であり、その後の懇親会も会員のつながりという意味で大切であると改めて感じました。



窓をあけた蔵の中での総会

横浜支部

「書面開催」で行った横浜支部通常総会

横浜支部総務委員長 小笠原 泉

横浜支部の通常総会は、本来であれば5月16日（土）に例年通り通常総会・記念講演会・懇親会と三部構成で開催する予定でしたが、本年度は新型コロナウイルス感染防止の緊急事態宣言を受け、支部創設以来初の書面による総会開催としました。

総会開催を準備する支部総務委員会では、緊急事態宣言発出前から総会の開催方法について議論してきており、支部会員のみなさんから委任状をいただいて支部役員・監査役のみによる総会開催とする等の案もありましたが、総会の議案に対して支部会員のみなさんの意向が出来るだけ反映できるようにと、結果として表決書による書面開催を選択し、総会を行うことにしています。

書面開催にあたっては、横浜支部会員のみなさんに機関誌「建築士」の5月号に「令和2年度第27回横浜支部通常総会」の議案書と開催通知を兼ねた「表決書」を同封し、通常総会の書面開催と記念講演会・懇親会の延期をお知らせいたしました。

今年度の横浜支部の通常総会において特記すべきことは、令和2年度が支部役員改選年であったことです。本来は支部役員立候補者の取りまとめ等を行う支部役員選挙世話人会との調整を経て支部役員候補を総会にお諮りしますが、今期は新型コロナウイルスの影響を考慮して、選挙世話人会と協議したうえ、緊急的な措置として現支部役員を1年間に限って全員留任することを議案として支部会員のみなさんにお諮りしています。

総会の議案は、表決書の集計の結果、通常の議案と併せてすべて了承されたことから、オンラインによる支部役員会の決議を経て、総会の成立と全議案の了承となりました。支部会員のみなさんや書面開催による総会を準備した総務委員会の委員にとって初めての経験でしたが、ひとまず無事に総会を終えることができたことをともに感謝したいと思います。

また、延期とした記念講演会と懇親会は、当初から予定していた講師の先生方をお招きし、11月中旬の開催を目途に準備を進めているところです。なお、記念講演会は横浜の公共建築物やウオーターフロント計画にゆかりのある講師の方々を予定しています。

記念講演会と懇親会の会場についてはコロナウイルスの影響もあって会場選定に苦慮していますが、この記事がSALONに掲載されたところには会員のみなさんにご案内できる予定です。横浜支部の記念講演会はどなたでも参加することができますので、みなさんの参加をお待ちしています。

県庁職域支部

支部総会開催状況

支部長 村島 正章

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が延長される中、感染拡大防止に努める必要があることから、一堂に会しての開催を断念しました。

支部規約によれば、総会の全員数の3分の1以上の出席がなければ開催できないとされていますが、ただし書きによる「委任状提出者は出席会員と認める」との規定を受けて、異例の対応になりますが、総会資料を総会開催通知と併せて送り、議案等の資料一式を会員各自に確認してもらった上で、議案に異議がない場合は、令和元年度の支部長あてに委任状を返送してもらい、その委任状の数が会員の過半数を超えた場合、総会が成立し、議案等の承認を得たものとする特例の扱いにより5月27日の総会開催としました。

結果は、会員数113名に対し、94人から委任状の提出を受け、過半数の57人を上回る委任状出席によりすべての議案が承認され、総会結果通知とともに、年に1回発行している「県庁職域支部だより」を全会員に送付しました。

新たな執行体制としては、今年度の支部長を私が仰せつかり、副支部長、監事及び10名の幹事で支部運営を実施していくことになりました。

今年度の事業については、まず、厚生活動として、例年7月に開催している会員及び家族の交流と会員増強を目的としたバーベキュー大会を、時期を少しずらして8月下旬に予定しました。

次に一級建築士資格取得支援を総合資格学院の協力を得て9月上旬に、会員による建築セミナーを11月と3月の2回開催することとしています。今年3月に予定していた建築セミナーが新型コロナの関係で中止になりましたので、内容をより充実して実施することとしています。会員が集まるのが引き続き困難な場合には、会員に関する情報発信などを検討することとしました。

また、新規入会者に対する入会金補助も継続して行うこととしています。

今年度も職域支部ならではの活動を実施していければと考えています。どうぞ宜しくお願いします。



大川 友理枝 相談役（横浜支部）が 「令和2年度県民功労者表彰」を 受賞されました。



この度、大川友理枝相談役が、令和2年度県民功労者表彰を受賞されました。

大川相談役は、多年に渡り建築業務に携わるとともに、当建築士会の副会長等を歴任し、組織の充実強化と建築士

の資質の向上に優れた成果をあげるなど、産業の振興に尽くされました。

こういった功績に対して表彰されたものです。

大川相談役は、本会の女性委員会の前身である青年委員会女性分科会から、当時少数であった女性建築士のために活動し、その後の女性部会を経て女性委員会の発足（平成4年度）に貢献されました。平成11年度には、第3代女性委員長に就任し、福祉の住まい・まちづくりや子どもの生活環境、建築環境、地域相談、そして女性建築士の技術向上に尽力し、常に女性建築士の先輩として女性会員に寄り添ってられました。

平成25年度には、本会副会長に就任され、2期にわたって会員活動をサポートされました。

また、県産木材木工コンクールや神奈川建築コンクールの審査員を務められる等、神奈川県の建築士育成にも尽力されました。

事務局に来局された際も、職員一人一人に対し温

かくお声がけされ、業務を労ってくださいます。まるで、「建築士会の母」のような存在です。

ここで、大川相談役に受章された感想をお伺いしましたのでご紹介します。

「この度は建築士会の推薦により、神奈川県県民功労賞をいただきありがとうございます。士会活動30余年、女性委員会との関わりが中心でしたが、その間いろいろな士会の活動をさせて頂きました。特に印象に残るのは連合会女性委員会副委員長として、全国での全建女にかかわらせていただいたことです。また、神奈川県建築士会副会長の時は日中韓との国際的な会議に出席する機会を得て、視野を広めることもできました。士会での活動はいつも楽しいものでした。これも、ひとえに私を導いてくださった皆様のおかげと思い厚くお礼を申し上げます。また、たくさんの方から、お祝いのメッセージを頂きました。感謝申し上げます。」

大川相談役の令和2年度県民功労者表彰受賞を心からお祝いさせていただきます。



表彰状と記念品



※神奈川県のホームページで公表されております。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ie2/syoushi/r2kenminnkourou.html>

建築3次元CAD

madric **As**



New Media

更なる飛躍をソフトでお手伝い

株式会社 ニューメディア総合企画

〒251-0875 神奈川県藤沢市本藤沢 7-3-17

TEL (0466) 83-0015 FAX (0466) 80-3751

URL: <http://www.newmedia-sk.co.jp>

E-mail: kanagawa@newmedia-sk.co.jp

機関誌「SALON」

掲載広告募集

本誌「SALON」は年4回発行し、会員の皆様をはじめ、関係団体等へ配布しています。発行部数は2600~2800部です。

この「SALON」への掲載広告を募集しています。本年度発行号では、表2、表3、表4広告は既に受付終了となりましたが、左記の広告のような、本文中の広告については、まだまだ募集中です。貴社の案内広告を掲載しませんか？

お申込、詳細は建築士会事務局までお問い合わせください。

～Facebookの取り組み～

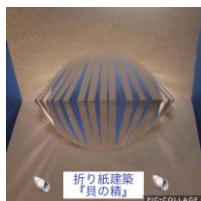
女性委員会 進藤 美寿々

2020年3月から神奈川県建築士会女性委員会ではFacebookで「折り紙建築」を紹介しています。現在までに、第六弾までご紹介させていただいておりこのページに「いいね！」としてくださる方が増えています。

【第一弾】



【第二弾】



【第三弾】



【第四弾】



【第五弾】



【第六弾】



この取り組みのきっかけは、女性委員会メンバーからのある提案からでした。それは、新型コロナウイルス感染症対策として学校が臨時休校となることを受けて、家に居るしかない『親子へ向けての支援』というものです。

せっかく一緒にいる時間を「折り紙建築」というものづくりで共有出来たら素晴らしいねと活動を始めたのです。

【折り紙建築について】

折り紙建築とは、1980年代初め頃茶谷正洋氏によって考案されたポップアップカードです。二つ折りにした往復はがき大のカードを開くと建築や抽象立体が立ち上がるもので、基本的に1枚の紙を切り・折って制作します。

もちろん女性委員会自体も自粛になりますのでやり取りはLINEグループを活用し、作成手順や型図をどう配信するかなど情報共有を行っています。茶谷委員長が型図と作業方法を指南してくださいますので、型図の調整、作業手順の作成、投稿文・写真のまとめなど作業分担しています。

今後は作業手順を動画で配信できるように、若手にも見てもらえるようInstagramの連携なども視野に入れて現在調整中です。

Facebookに投稿するだけではありません。自分たちでも作成し写真を投稿しています。また、子供たちと一緒に作成したという委員会メンバーからの写真も投稿されています。一部ご紹介したいと思います。（右側の写真）

子どもたちの海の作品はお気に入りの一つであり、色使い含め発想が広いです。委員会のメンバーからは余ったクロスで作成した貝の精という作品があり建築ならではの発想が素敵です。私はカレンダーの写真の部分利用してみました。

使用する道具としてケント紙を挙げていますが、他の素材を活かすことをしてみると幅が広がります。

子どもにとっては、カッターやハサミという“道具に慣れる”ことが出来たり、二つ折りから開いた時にちゃんと立つように紙の性質“曲げへの抵抗”を感じることが出来たりします。また、平面から立ち上げる時に“山折り”“谷折り”などの作業を行い、立体とするのは頭を使うので面白いです。

“光”の入りで印象が変化し、陰影の美しさを感じることが出来るのもポイントだと思っています。Instagramでいう“映える”写真にもなるかもしれません。

「イメージすること」「カタチにすること」を身に着けられる作業だと思います。

それに「建築を身近に感じる」という要素が加わりこのFacebookの活動が、建築を志す、興味を持つことに繋がると嬉しいと思っています。

5月末で緊急事態宣言が解除されてはいますが、今も分散登校、テレワークなど自粛が続いていると思います。

私たち女性委員会も集まらずWEBシステム等を利用して委員会を行っています。引き続き、ツールを有効に使い情報共有・情報発信を行っていききたいと思います。



Facebookに寄せられた作品

横浜市における再生可能エネルギー普及拡大に向けた取組について ～市内の事業者向け より低炭素な電気への切替キャンペーンを実施中です～

横浜市は、2018年10月に、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとし、脱炭素社会を実現する「Zero Carbon Yokohama」を地球温暖化対策のゴールに掲げました。

このゴールの達成に向け、できる限り早い時期から、二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギー由来の電気（再エネ由来電気）を利用しやすい環境・社会とすることが重要です。

そこで、横浜市では市内の事業者の皆様を対象に、再エネ由来電気への切替を促進するキャンペーンを12月25日（予定）まで実施しています。キャンペーンでは、再エネ率30%以上の電気を供給できる小売電気事業者にご協力いただき、横浜市ホームページ等で再エネ率ごとに供給メニューを紹介しています。多数ある電気の供給メニューの中から、再エネ由来電気のメニューを分かりやすく紹介し、事業者の皆様の再エネ由来電気への切替を促進します。メニューによっては、本キャンペーン限定の特典もあり、この機会に再エネをより多く含む電気へ切り替えていただくきっかけになればと思います。

この取組はSDGsにも貢献し、自社のアピールにもつながると考えています。本キャンペーンで電力を切り替えていただいた事業者の皆様は、現在制度設計中の横浜市独自のSDGs認証制度の認証対象となる予定です。

再エネ切替キャンペーン（仮称）

再エネ由来電力を30%以上含まれている電気への切替を促進します。

対象：横浜市内の事業者の皆様
期間：2020年12月25日まで（予定）

※環境価値をあてた再エネ電気（FIT電気含む）を30%以上含む電気を本キャンペーンの対象としています。

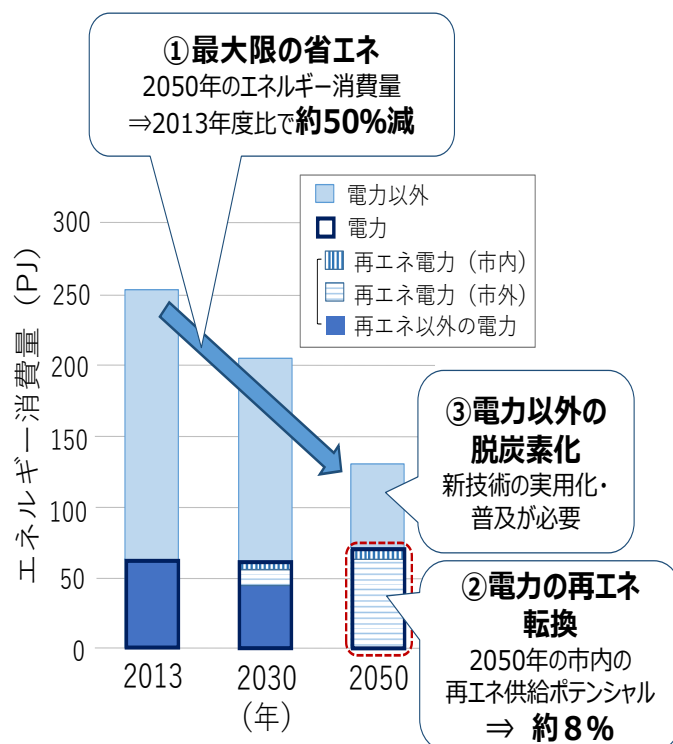
詳しくはHPをご覧ください。

横浜 再エネキャンペーン 検索



（参考）「Zero Carbon Yokohama」達成への道筋

横浜市では、「Zero Carbon Yokohama」が実現した2050年の姿を具体化するとともに、その実現に向けた取組を示すため、今年5月に「横浜市再生可能エネルギー活用戦略」を策定しました。本戦略で、2050年のエネルギー消費量の試算を行い、①2050年のエネルギー消費量を2013年度比で約50%削減、②2050年の消費電力を全て再生可能エネルギーへ転換、③電化が困難な電力以外のエネルギーの脱炭素化は、バイオマス燃料や水素等の新技術の実用化、を示しました。また、②において、消費電力に対する市内の再エネ供給ポテンシャルは約8%であり、残り約92%は市外からの供給が必要となると試算されました。



2050年ゼロカーボンのイメージ

横浜市温暖化対策統括本部調整課

電話番号 045-671-2623

Eメール on-jikkou@city.yokohama.jp

新型コロナウイルス感染拡大に伴う自粛期間の子どもの生活環境緊急アンケート調査報告

部会長 宇野素子

子どもの生活環境部会では新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛期間中の子どもたちがどのように過ごしているか、2020年5月14日～31日まで当部会ホームページ、フェイスブックを通じて緊急アンケート調査を行いました。

子どもを取り巻く環境についてずっと関心を持ち続けている子ども部会としては、今回の自粛生活が子どもにどのようなことをもたらすのか、コロナ後の社会の変化をとらえるためにも真っ只中の状況を知っておきたい、そして将来的に家の使い方や子どもの居場所はようになっていくのかを考えたいと思ったためです。

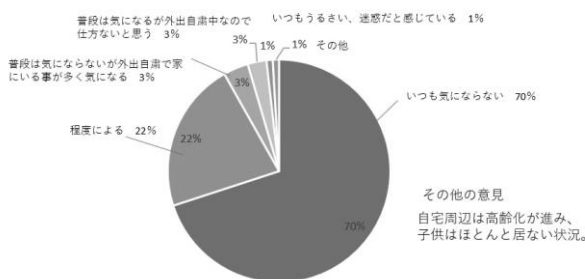
私自身も自粛により家で過ごす時間が多くなり、子どもの家での過ごし方について悩むことがありました。

部会のオンライン会議でも各家庭で抱えるケースが様々であることがわかり、家に家族で長時間いる今だからこその家庭での状況をいち早く切り取るべく、アンケートを実施することになりました。

建築士だけでなく知人や子育て団体、他県建築士会や研究者の方も関心を寄せて下さり、神奈川県を中心に382件の回答を頂きました。同居家族にお子さんのいない方からも111件の回答を頂き、地域の一員として子どもの生活に関心を持って頂けていることを心強く感じました。(下図：子どもの声について) ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

現在同居するご家族にお子さんのいない方の回答

Q ご自宅にいて聞こえる近隣からの子どもの声は気になりますか？

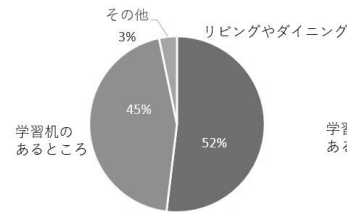


質問は外出自粛期間中の子どもたちの「家での生活について」「外出や外遊びについて」と同居家族にお子さんのいない方も含めた「部屋の使い方の変化」で構成されています。

「家での生活」では「子ども専用の学習機の有無」に対し、有が75%、無が15%、家族と共有している人が10%でした。休校前と休校中それぞれどこで勉強しているかについては、休校前はリビングやダイニングが過半でしたが休校中は逆転しました。

子ども専用・共有の机がある

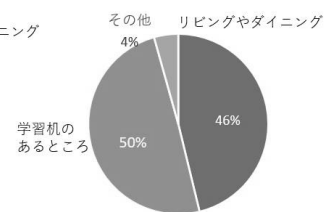
Q 休校になる前お子さんは主にどこで勉強していましたか？



その他の内訳

塾の自習室や自宅の机	1
自分の部屋かリビング	1
寝室	1
自粛前は未就学だった	3

Q 休校中の平日お子さんは主にどこで勉強していますか？



その他の内訳

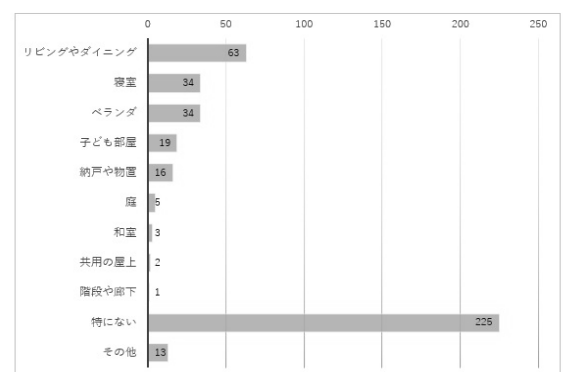
子ども部屋とリビング	4
寝室	1
様々な場所	1
客間	1
未回答	1

お子さんのいない方も含めた全員への質問で外出自粛を機に在宅勤務になった家族がいる人は半数近くいました。

「家の中でこれまでと違う使い方をしている部屋」「どのように使っているか」は、子どもの学習場所や大人が仕事をする場所だけでなく趣味のために使う、ハンモックやテントを張るなど在宅時間を楽しむための工夫が見られました。

質問ではあわせて「今こうできたら良いと思う事」も聞いており、記述欄にはたくさんのお声をいただきました。また集めた回答を基に調査した内容についても後日報告予定です。

Q 家の中でこれまでと違う使い方をしている場所がありますか？



集計結果は以下のQRコードからご覧いただけます。

また、子どもの生活環境部会ホームページ、フェイスブックからもリンクしています。



<https://kdmkanagawa.wixsite.com/mysite-4>

コロナ禍、何してた？

新型コロナウイルスの流行により様々な活動の自粛、緊急事態宣言の発令があり、2020年2月頃から働き方や日常生活が大きく変わった事かと思います。コロナ禍の記録・後々の振り返りのために、「コロナ禍、何してた？」と題して自由にコメントしていただきました。3・4・5月の情報広報委員会は中止となり SALON 編集期間が短くなったため、情報広報委員及び事務局からの寄稿となります。(編集部)

平時とは全く違い、夕方からの外出は皆無、仕事も定刻に切り上げる毎日。さて空いた時間をどう過ごすかと変に悩む日々でしたが・・・溜まっていた未見の映画を見たり(週10本以上は観たかも)、テレビゲームに狂ずるにおいては、まだまだ俺も若いなど。でもゲームのスピードについて行けない(汗)もう年かな！？でも今更ながら、これまで通りの仕事のやり方や、余暇の過ごし方って正解だったのかな？と自分を見つめ直す良い機会になりました。

横須賀支部 高戸 憲一

テレワークの朝はストレッチと発声練習をミックスした筋力トレーニングをルーティンとし(腹引込めるの大変なので以前より長めに…)、ひたすら断捨離決行!! ひと部屋分くらいは軽く処分した感じ。そして、TVドラマ「深夜食堂」のオープニングロールのトン汁に触発されて外食専門のスギタが20数年ぶり(えっ!!)に料理にはまり、ついに家に【電気圧力鍋】が到着! Webサイトのレシピを検索しまくってます。私の自宅ライフ180度絶賛変化中〜★

横浜支部 杉田 姫美子

結構お金使いました!

緊急事態宣言が出てからは、出勤するのは3日に一度、残り2日は在宅勤務になりました。僕の場合、往復2時間半以上の通勤時間がありましたので、随分時間的余裕が生まれました。

で、その余裕の間に、つい「ポチッと」してしまうことが多く…(汗)。

冗談はともかく、この自粛期間中に「満員電車による通勤が異常なこと」に気付いてしまった方、多いのではないのでしょうか?

1千万人近い人々が、毎日、決まった時間に決まった場所に雁首揃える必要など無い、と。

秒単位で運行される日本の鉄道を世界に誇ろう! みたいに言われますが、それ本当に合理的なことだったのだろうか? という問いを発することが求められているのだらうと思います。

横浜支部 畠 宏好

コロナ禍による影響は様々なところに出て、業務は随分振り回されました。

緊急事態宣言により、弊社でもテレワークや時差

通勤を導入、以前の事務所の雰囲気とは随分と変わってきました。また、いろいろな会議もズームで参加が多くなり、人が集まる場面も制限され、他人事のように思われていたことがいつの間にか自身がコロナ禍にいることを実感しました。

あれだけ飲み歩いていたのがうそのように、毎日が判で押したように自宅と事務所の往復で女房と二人きりの世界が出来上がり、家飲みの会話は専らコロナで、今日は何人? 神奈川は? 海外は? ワクチンは? などと繰り返し、休日は体力作りを兼ねた散歩にスーパーでの買い物のみ。朝は時差出勤のために、夜早寝で朝早起きの健康スタイルを続けています。

川崎支部 上原 伸一

私は建設業なので職場や現場には車で行き、仕事も密になることは無いので普段通り作業をしていました。ただコロナの影響で建材や住設機器類の納期が掛かり施主に迷惑をかけてしまいました。

会いたい人に会えなくて寂しい時もありましたが、会いたくない人間に全く会わなくて済んだのでまんざらでもないコロナ禍でした。

横須賀支部 比護 友一

もともと事務所兼自宅なので STAY HOME は全然苦にならなかったのですが、2月後半からイベントや会議の中止・延期連絡に振り回されていました。そのうち、早寝早起き、三食バランスよく食べ、人々の買いだめ様子を横目に在宅ワークとなりました。3月2日から休校になってしまった孫たちのためにあの手この手で楽しい仕掛けを計画。毎日一緒におやつを作って試食し、孫のイラスト入りで冊子にまとめました。そろそろ建築探訪に出かけたいな。

湘南支部 佐藤 里紗

ダイヤモンドプリンセス号でのコロナ感染のニュースの頃は、とにかく仕事が忙しくコロナへ関心を向ける余裕すらありませんでした。そんな仕事も少しずつ落ち着き、昨年から取り組んでいた自宅の建て替えも終わり、引き渡しがあったのが2月中旬。それからは3月引き渡しの住宅の追い込みや、自宅の引っ越しの片付けや買い物、様々な手続きで疲れきった頃に緊急事態宣言で社会が停止しました。例年4月頃は暇な事が多いので、コロナ禍による影響

ではないものの、なんとなく暇を持て余す自分の言い訳にしていました。とは言え自宅を自分たちで住みやすくするため、DIYで棚を作ったりガーデニングをしたり等、肉体労働でコロナ禍を乗り切りました。ネットでの買い物も尋常じゃないくらいにしたので、カードの支払いが恐ろしい。コロナよりも恐ろしい……。

中支部 田中 敦史

布マスクを発見した。日本製と肌にやさしいのが売りらしい。高いが3枚購入。世にマスクが出回るまでこれでしのげる。洗って使える。→店は閉まっている。デパートもやっていない。食べるものは買える。珈琲だって家で飲めばよい。不自由はない。→県をまたいだ。仕事でだ。不要不急ではない。罪悪感を感じた。→テレビドラマの再放送を見た。おもしろい。自粛を頑張っている僕へのご褒美だ。→銀行で入場制限にあった。結構待った。いろいろ顔、あきらめ顔、つかれ顔。→ぱっと目が覚めた。朝の6時前だ。ベッドの脇のテレビをつけた。コロナだ。テレビを消してまた寝た。→宣言が解除された。何が変わったのだろう。マスク、フェイスシールド、客と店員とを隔てるビニールのやつ。これから何が変わってゆくのだろう。

横浜支部 河内 崇

・生活のリズムを確保。

早朝一時間程のウォーキングで体調を整え、通奏低音の様にオペラアリアを流しながら『冷凍保存食作り』などで気分転換し、外出自粛のストレスを緩和させていました。

・STAY HOMEには、読書が一番？

広く浅く読んで積み上げられていた参考資料を深く読み込み、一部整理・解決に繋げました。

・終活の一環として。

長年溜まった『海外旅の思い出』の写真を大量に整理・処分し、完璧ではないものの『モノの仕分け』の判断基準を磨きました。

・with コロナの時代～非接触・非対話の中、日常を何の為に変わっていくのかを感じながら、柔軟性を持って適応できるかどうか、自身に問われている数か月です。

横浜支部 黒田 協子

長男 Zoom で塾の授業、長女 Zoom で ECC、Zoom に写ろうとする次男、アマゾンプライムビデオが見たくパソコンの取り合い、私は Zoom で会議。ではなく、3密にならない様注意して通常勤務。材料は

若干納品に時間が掛かるものもあったが、他現場が停まっているところもあり、人は逆に集まりやすく工期が厳しい現場は順調に進んだ。高速道路（平日の横羽線大師付近やGWの浦安付近）は空いていて、快適に移動ができた。建設業は色々な職種と現場で事細かく打ち合わせをする必要があり、テレワーク（在宅勤務）をするのは難しいと思った。

夜の外出は皆無で、子供が勉強しない・片づけない・喧嘩する・うるさいなどの話を聞かされ自宅での飲酒量はかなり増えた。（飲み）歩かないからか飲食後早めに寝るからか太った。

川崎支部 三宅 淳一郎

仲間と一緒に、BIOTOPE 作りに励んでいます。10年ほど前から休耕田を借り、有機農法の米づくりに勤しんできました。相模川の支流のそのまた細流、さらに奥まった谷戸の沢から水を取っています。沢の水は、水温が低く、そこには、沢ガニ、メダカが住み、時にはカワセミも姿を見せます。梅雨のころ



には、蜚が飛び交う谷戸と里山、伝統的な風景です。

ところが、奥の里山での開発により、沢は雨水排水のため、PC製開渠に変わってしまうことになり、これは大変と、沢の生き物たちのすみかづくり、BIOTOPE 作りに挑戦。最上段の田んぼに幾重にも溝を掘り、近くの谷戸でも、沢ガニ、メダカ、川エビ、カワナナなどを捕まえ、放流。この生き物採取は、子供たちがタモを片手に奮闘。大人たちは力仕事の後の適度な疲労と、野外でのビールにほろ酔い気味。

県央支部 南雲 一郎

コロナウイルス感染対策だ、と意気込んで自宅勤務に入ったものの、所詮テレワークには馴染まない職場なので、すぐになし崩し的に出勤時間をずらした勤務にシフト。その中、わが組織は大胆にも職場の引越しを強行したのでありました。考えるまでもなく、自宅勤務では当然引越し作業はできない。さて昼休みになり昼食を摂ろうと思うものの、飲食店

は休業ばかり、本町に引っ越した人たちはランチ難民化して空腹を抱えてさまよったコロナ渦でした。

横浜支部 小笠原 泉

もう、私的な今年度の流行語大賞は、「除菌」で決まりです。どこへ行っても、家の中にいても、除菌漬けの毎日で、今も続いています。ドラッグストアを覗いては、アルコール類の除菌グッズから探すのがすっかりと習慣になってしまいました。

思えば、SARSやMERSが騒がれたときに、いつか地球の主導権は人類からウイルスに取って代わるのではないかと不安になったものです。闘いの時は来たのかもしれませんが。絶対に勝つぞ、オー！

事務局 宮林 正彦

コロナが世間で騒がれたところ、家の冷蔵庫が怪しくなり、氷が作れなくなった。騙し騙し使っていたが、とうとう冷凍していたものが解け始め、慌てて電気屋へ走り、新しい冷蔵庫を購入した。そのあとは、新しい冷蔵庫をお迎えするためにひたすら、玄関から台所の間を掃除し、そのついでに周辺を片付け、プチ断捨離が始まった。資源ごみの日に何日も分けて出したが、それでもまだ未着手の場所がある。そしてまだまだ、断捨離の日々が続く。

事務局 松山 悦子

娘は休校、旦那も家に。最近家族の揃う時間がほぼなかったのに、一気に「家密」状態。それが吉と出て、「家族っていいな」と再確認できた貴重なコロナ禍でした。そんな中、夜はお一人様「大河ドラマ」鑑賞。U-NEXT 無料お試し期間を使い、まずは見逃した「麒麟がくる」を 19 話まで一気観。最新話に追いついた途端、放送一時休止となった不完全燃焼を「おんな城主 直虎」全話制覇で吹っ切る。無料期間終了となった今、「天地人」で寝不足です。

事務局 荒尾 博子

新型コロナウイルスが騒がれてから月 1 回会っていた友人にも会えず、緊急事態宣言前から解除された今でも家と会社の往復だけの毎日です。そんな中でも楽しみがほしいと思い、1.5m~1.7m程伸びるひまわりの種を買いました。5 月末に庭の草むしりをし、種を植え、先日間引きをしました。

7 月中旬から 9 月が開花時期なので夏が待ち遠しいです。

事務局 松本 瑞生



本来なら原則、窓口での受付としている建築士免許登録手続きですが、新型コロナウイルス感染症対策のため、郵送による受付、交付を始めました。対面でのやりとりならスムーズに進みますが、郵送となると勝手が違い、慣れるまでは苦心しました。郵送による手続きはコロナ騒ぎが落ち着くまでの対応となっておりますので、建築士免許の携帯型への切り替えがお済みでない方は、この機会に手続きを試みてはいかがでしょうか。お待ちしております。

事務局 小島 晶子

私の勤めている会社は二人（私と妻）だけです。コロナ禍においても特に規制を行うことをせずに、普段とかわらず毎日出勤していました。ただ、楽しみにしていたコンサートやイベントが全て中止となってしまうと、楽しみは「食うこと」しかありません。昼食は近くでコロナ禍でも営業されていたベトナム料理店でフォー、韓国料理店でスンドゥブチゲ定食、老舗鳥料理店の唐揚げ弁当のテイクアウトを順繰り楽しんでいました。

相模原支部 山口 義弘



事務所の片付け整理にも飽きて、写真撮影スポットの三浦半島景勝地剣崎灯台へとドライブ。車から降りないことを条件に行ってみました。誰も

いません。もともと人が来ないのかも。それをよいことに少し散歩をと思い、灯台を観て海まで下りて、なんと 2 時間も歩き廻ってました。マスクからも解放され、気分は上々です。味を占めてあちこちドライブです。地元なのに知らないところがたくさんありました。帰りにはその地の魚屋を訪ね、生きのいいのを手にいれます。今度は魚料理に励み気分は板前です。私は何となく何でも作れます。今日は刺身盛り合わせ、今日は煮魚、今日は焼いて、蒸してと作ることを楽しみます。いつもは使わない器をだして盛り付け等にもこだわります。家族を手元に皆で作ります。賞味するのはもちろん家族。食べたい一心で家族が一つになります。食後のテレビ、海外ドラマも今一つ。長男がしていた友達とのライン麻雀に触発され、なんと深夜の家族麻雀を二十数年ぶりに楽しみました。コロナ禍で苦しんでいる人が大勢いる中でとても不謹慎であるように思いつつ、また、人との出会いが少ないのは残念で寂しいけれど、貰えた時間で何かが変わろうとしているのかも。

横須賀支部 林俊司

秦野 五十嵐商店

このコーナーではスクランブル調査隊メンバーが関わったり、探訪した、神奈川県内の歴史的な建物やまちなみを紹介します。

丹沢にほど近い秦野駅から水無川を超え、約5分ほど歩いた商店街の中ほどに銀行のように威風堂々とした「五十嵐商店」があり、地域に親しまれたこの建物は平成29年に倉庫3棟とともに登録有形文化財になっています。

現在の建物は震災後の大正14年に再建された木造2階建ての和風店舗を基に、昭和3年増改築され3階建てとなり、外観はすっかり洋風になりました。施工は全て近隣の森田工務店、外観意匠のレリーフは伊豆の長八一派によると言われています。



現在の外観

外観正面の両隅柱柱頭にアカンサス葉飾りのコンポジット式オーダー風意匠が用いられており、彫溝がある角柱が配され、窓は大きな縦長の木製上げ下げ窓で古典主義様式風表現となっています。1階店舗の玄関上部には菱折れ銅板の陸小庇が付いています。屋根は方形の対角線を谷とし、陸棟が十字に交差する四方陸棟屋根、銅入り鉄板波板葺きで、外壁正面は非常に細かいモルタル洗い出し仕上げとなっています。



四方陸棟屋根

令和元年秋から「秦野にぎわい創造まちづくり」という支援団体が、1階を「カフェいがらし」、2階は貸しスペースとして活用してくれることになりました。

また同年秦野市の熱心な協力もあり、「文化観光充実のための国指定等文化財磨き上げ事業」という登録有形文化財対象の



店舗内部の様子

補助金を利用して外部建具や庇の修理をすることができました。

令和2年2月9日、改修工事もほぼ終わり

ご紹介を兼ねて五十嵐商店活用イベントが行われました。建築関係者や一般の方もともに、近隣に残る数件の素晴らしい歴史的建物と五十嵐商店を見学し、今後の維持管理やまちづくりなどが話し合われました。

大きい方の倉庫は50人ほどの観客を招いてのコンサートや演劇、マルシェなどに利用できます。

五十嵐さんが守り抜いたこの建物の近隣には、幸い共通の思い出を持つ同年代が何人かいたことから、素晴らしいネットワークが生まれました。所有者、近隣、更に行政とのチームワーク、歴史的建物好きな人々への幅広い発信などで、今後もより大きな輪を創っていくことを願います。

神奈川には、まだまだ未知の魅力あふれる歴史的建物が多く存在します。これから皆さんとこつこつと建物探訪を続けていきたいと思っています。



大きな倉庫の内部



五十嵐商店 昭和3年 増改築工事竣工時

<概要>

名称：五十嵐商店店舗兼主屋

所在地：秦野市本町2-4-9

建設年：大正14年（昭和3年増築）

構造：木造 3階建て

（スクランブル調査隊 内田美知留）

理事会報告

【第 372 回理事会】

日 時：令和 2 年 3 月 25 日（水）15:00～16:00

場 所：神奈川県建設会館 2 階講堂

○主な協議事項

- 1 令和 2 年度事業計画及び収支予算について
- 2 委員会再編と会員増強の検討状況について
- 3 入会承認について

○主な報告事項

- 1 本会主催の催し物等の新型コロナウイルス感染拡大を受けた対応状況について
- 2 令和 2 年度関東甲信越建築士会ブロック会優良建築物表彰について

【第 373 回理事会】

日 時：令和 2 年 5 月 20 日（水）

場 所：新型コロナウイルス感染症蔓延防止に伴う「決議の省略」による実施

○主な協議事項

- 1 令和 2 度通常総会について
- 2 二級建築士及び木造建築士登録等事務規程の一部改正について
- 3 長期会費滞納による会員資格喪失について
- 4 入会承認について

○主な報告事項

- 1 二級・木造建築士名簿閲覧規則の一部改正

第 372 回理事会（3 月 25 日（月））、第 373 回理事会（5 月 20 日（水））で入会承認された皆様です。

■ 正会員（49 名）

（敬称略、支部別・五十音順）

《横須賀支部》

河野 華子 プレハブ業

《小田原地方支部》

奥原 陽平 建設業

《川崎支部》

青木 陸 その他
宇津木 喬行 建築士事務所
岡村 知佳 建設業
勝俣 真樹 プレハブ業
久保 英幹 建設業
齋藤 鉄馬 その他
高橋 孝平 建設業
田中 真人 建築士事務所
露木 直巳 建設業
永島 輝栄子 建築士事務所
本間 翔平 建築士事務所
前川 貴紀 建築設備業
横山 瑞子 その他
吉村 紘一 その他

《相模原支部》

島貫 修土 不動産業
長瀬 将雄 建設業

《県央支部》

坂野 花梨 その他

《湘南支部》

浅利 龍司 その他
内田 朋彦 建設業
葛西 彰男 一般企業
杉浦 徹 不動産業
富田 和太朗 建設業

《横浜支部》

足立 哲郎 官公庁
飯島 暢徳 その他
石川 綾 建設業
遠藤 由佳 プレハブ業
遠藤 洋平 建設業
大野 裕崇 その他
大室 直也 建築士事務所

北川 遼 学校
光野 真理子 その他
小柴 隆史 その他
佐々木 泰紀 建築設備業
澁谷 龍典 建設業
清水 香帆 建築士事務所
庄司 研 建設業
鈴木 光一 建築士事務所
鈴木 充 建築士事務所
高橋 宗弘 建築士事務所
高橋 奈月 建設業
田中 結 一般企業
戸塚 裕児 建設業
豊島 次勝 その他
根建 睦 工務店
濱 洋子 その他
村上 剛志 建設業

《県庁職域支部》

柴森 崇之 官公庁
太田 宏美 官公庁（再）

■ 賛助・特別会員（2 社）

横浜ビル建材（株） 建材業 （株）イケダコーポレーション東京オフィス 建材業（再）

■ 事務局だより VOL.39

「事務局のコロナ禍」

事務局では、まず、事務局環境を整えることから始めました。毎日の除菌清掃、事務局入口等への消毒薬の設置、カウンターへの飛沫防止ビニールの設置（手作り感満載：右写真）、事務局入口や窓の開閉による換気。もちろん、職員はマスク着用。

そして、4 月 7 日に「緊急事態宣言」が発せられた以降は職員の勤務体制をテレワーク（交替制による在宅勤務）、時差通勤（交替制）、残業禁止（全員）とし、その後の緊急事態宣言を受け、事務局開設時間の短縮、窓口

業務（建築士登録事務、書籍等の販売）の郵送対応等を行いました。諸々の対応にあたり、会員をはじめとした建築士の皆様、関係者の皆様のご協力に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

今後も続くと思われるコロナ禍。事務局にも変化が問われますので、これからは皆様が安心・安全に活動できるように心掛けてまいります。

